

第3回第6次津久見市総合計画審議会議事録及び質問・意見への回答

資料 1

第Ⅰ・Ⅱ章 総合計画序論・第Ⅱ章 総合計画基本構想たたき台（資料1-1、1-2）関係

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
1	“地域の力”をつくっていくために、子どもへの教育として、津久見の歴史や地形、基幹産業を小学校・中学校・高校で学ぶ機会「津久見を磨くつくり学」を行えば、津久見市への愛着や誇りが醸成され、将来子どもたちが津久見市内に戻ってくる結果に結びつく可能性が考えられる。またその試みをまち全体で盛り上げていく環境づくりが考えられる。	一	方向性について大いに賛同する。取組の可能性について、教育委員会とも調整の上、具体的に検討したい。	有	総合戦略 施策②多様な人財の育成	津久見市の歴史や基幹産業などを学び、子どもたちの津久見市への愛着や誇りの醸成につなげる「津久見学」の造成
2	子どもの教育と育成が一番重要ではないかと考える。全国の中学校・高校では、生徒個人の主体性を重んじた自由な取組が行われているが、津久見市でもそのような子どもの興味を突き詰められる環境づくりを期待したい。	一	様々な分野で好成績を残している津久見市内の学生は多い。その長所を伸ばせる環境を整えられるよう、教育委員会とも協働の上取り組みたい。	無		

第IV章 総合計画総合計画（資料2-1, 2-2, 2-3, 3）関係

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
1	津久見市の10年後の人口は1万800人と推計されており、そのうち半数以上が高齢者である一方で、現在の医療現場は全国的に大変な経営上の危機を迎えている。開業医の高齢化に伴う診療所の減少も医科・歯科問わず論じられるべきであり、津久見市内の病院におけるダウンサイ징も気になる点である。今後10年に向か、①医療・介護の連携強化、②医療人材の確保・育成、③高齢者の移動支援、④災害対策、⑤予防重視のまちづくりの5つがキーワードとなる。①については、地域医療の持続のためにも重要である。②については、学生の奨学金返済支援の仕組みも必要と考えられ、認定看護師などの制度が考慮されるべきである。医療はまちの経済を支える基盤であるため、考慮いただければと考える	健康推進課	<p>持続可能な地域医療・介護の提供体制の構築には、医療・介護連携の強化や人材の確保・育成は重要な施策であり、現在、「在宅医療・介護連携推進事業」「介護従事者等就職奨励事業補助金事業」「地方創生人材奨学資金返還支援事業」などを実施しております。有事の際の医療・介護の提供など各関係機関と連携を図りながら、保健医療及び高齢者福祉の施策を推進していきます。</p> <p>また、体制の在宅医療の推進には、診療看護師（特定看護師）の活躍が必要と考え、現在、自宅または施設に診療看護師のみを派遣する在宅医療確保事業を医師会に委託して行っております。</p> <p>予防重視のまちづくりについては、施策に盛り込んでいるとおり、若い世代からの健康づくりの意識づけを推進し、特に生活習慣病発症・重症化予防の徹底を図ります。また歯科疾患の予防・早期治療を促進します。</p>	無		
2	津久見市内ではいじめ、不登校などの問題について積極的に対処しており、また学力テストでも県内トップクラスの数字が出ているものの、市民アンケートでは、教育に対する満足度が低かった。この原因が何なのかを今後10年で考えていくべきである。	学校教育課	施策指標の達成度は高い数値が出ていますが、市民アンケートでは、施策指標がない項目、例えば通学の負担、子育て支援の不足等での満足度の低さが挙げられています。これから津久見市の子どもために、教育全般を見通し、魅力ある学校づくりや質の高い教育の提供を目指したいと考えています。	無		

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
3	観光振興の前提は地域の安心・安全や、地域で生活する市民の活力であるが、地域の防災・減災について、温暖化による豪雨対策・巨大地震による津波対策の具体的な施策が明記されていなかった。豪雨対策をはじめとした、新たな災害対策を市民に示す必要があると考える。巨大地震対策として、ハード面では備蓄、ソフト面では避難の具体的な施策をご検討いただきたい。	防災危機管理室	避難については防災訓練の推進をしていくことは重要であり、多くの方に避難場所の周知を進めていくことから本文の一部を修正します。備蓄品の整備については年度ごとに備蓄を進めているが記載がないため一部修正をします。	有	「防災備蓄品の整備をすすめ、」 「Web版防災マップを活用し」	「南海トラフ地震」やその他の自然災害も想定しながら、各地域の自主防災組織の充実や防災備蓄品の整備をすすめ、Web版防災マップを活用し防災訓練、防災知識の普及・啓発を推進し、本市の地域防災力の向上を目指します。
4	今回の総合計画策定に係るポイントは人口減少の加速であるが、もう少し危機感を伴った表現を盛り込むべきと考える。具体的には税の徴収の減少や公共施設の硬直化、行政サービスの質・量の低下など、自治体経営の持続そのものに関する危機意識の共有を市民とともにに行うべきかと考える。それを踏まえ、財政指標など、大胆なKPIを盛り込むことも検討すべきと考える。	経営政策課	人口減少は、行財政運営全般に渡って影響を及ぼすこととなりますが、そういった中でも、健全な財政運営を図りながら、総合計画を進め市民のWell-Being向上に努めていきたいと考えております。たたき台では、KPIを検討中しておりますが、財政指標を記載したいと考えております。	有	KPIを追加	KPI 「地方債残高（臨時財政対策債を除く。）」 「基金現在高（特定目的基金等を除く。）」 を追加
5	コミュニティセンターとしての旧第二中学校の活用は重要であるため、ぜひ注力していただきたい。また、高齢化に伴い各種市民活動の情報発信に弱みがあり、様々な取り組みを行っても周知されないという課題もあるため、情報発信をサポートする体制についてもご検討いただきたい。	生涯学習課	市民の文化・芸術活動の支援における情報発信について工夫を重ねながら進めていきます。	無		
6	商業の分野について、商店街の衰退は喫緊の課題である。その中で、新規創業や事業承継への支援も必要だが、全体としては、既存の事業者数をどれだけ維持できるかが課題と考える。したがってKPIには事業者数を含めると、全体の成果も見えやすくなるのではと考える。また、空き店舗の活用について、その活用件数もKPIに盛り込むことについてもご検討いただきたい。	商工観光・定住推進課	鉱工業で事業所数（鉱業・建設業・製造業）のKPIがありますので、その分野を除外した事業者数をKPIに設定することができるか検討したいと思います。空き店舗の活用件数は、居住兼店舗なのか店舗のみなのかなど、まず関係機関と連携して把握できるか検討していきます。	無		

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
7	耕作放棄地における雑木は喫緊の課題であるため、特に注力いただきたい。近年の気候変動の影響で、津久見市が蜜柑の栽培地として適さない可能性も考えられるため、これから市内の農産物のあり方についてもご検討いただきたい。	農林水産課	<p>耕作放棄地等における雑木等の処理などの対応につきましては、基本的にその土地の所有者が行うことが原則となっておりますが、土地の所有者から相談などがあればアドバイス等は行いたいと考えております。</p> <p>また、近年の気候変動による柑橘栽培への影響ですが、これに関しては津久見市のみならず、広範囲に影響が生じる可能性が考えられます。大分県におきましては、農林水産研究指導センターにおいて、その気候変動(温暖化)に対応出来るような品種の改良や、新品種の試験・研究を行っておりますので、その状況も踏まえながら、これから市内の農産物のあり方についても検討していきたいと考えています。</p>	無		
8	「基幹産業の発展に加えて、新たな産業の可能性の検討を行います。」という文章について、もう少し具体的な表現を求める。高校生や若い世代の関心やニーズについて、共有を図りながら新たな基幹産業の方向性を考えていただきたい。	商工観光・定住推進課	市民アンケートの中でも、働いたい業種が少ないといった回答も多く、若い人の雇用の場の確保は大きな課題と考えております。	有	施策① 「基幹産業の発展に加えて、新たな産業の可能性の検討を行います。」	「基幹産業の発展に加えて、若者のニーズ把握にも努めながら、新たな産業の可能性の検討を行います。」
9	全体的に、行政の持つ情報を勘案しながら、KPIを決めつつ、施策をもう一段階掘り下げ、期間を決めた行動計画まで議論できればよいと考える。	経営政策課	審議会の中で全ての施策で掘り下げた議論を行うことは、困難であるため、各事業分野の個別の計画で具体的に行うこととなります。が、計画については、毎年、計画の進捗状況について意見交換をする場を設けることとなりますので、その中で、進捗状況を踏まえながら議論させていただければと考えております。	無		

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
10	就労環境の新規の取組として、移住定住のワンストップ窓口の設置とあるが、これはどのようなイメージか。移住の促進にも力を入れていくという方針か。	商工観光・定住推進課	移住定住のワンストップ窓口については、就労支援の他、地域の概況のご案内など移住定住に関連した相談を一体的に行うことを想定し、各関係機関と検討している。	無		
11	また地域コミュニティについて、集会所等の改修支援のみと新規施策が少ないが、大きな変更はないという理解で差し支えないか。	経営政策課	地域コミュニティについては、具体的な取組の文章化が難しかったが、地域ごとの特色に応じた様々な取組を展開したいと考えている。	無		

第V章 総合戦略たたき台（資料4-1, 4-2, 4-3）関係

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
1	総合計画・総合戦略では、Well-Being指標の活用を策定方針としていると理解しているが、総合戦略では活用するのか。	経営政策課	今後、総合戦略の施策の内容に応じ、KPIの設定の段階で、Well-Being指標を活用する可能性も視野に入れる予定である。	無		
2	総合戦略でもWell-Being指標を活用するという認識で差し支えないか。	経営政策課	差し支えない。	無		
3	ふるさと教育について、10年以上フレスコ画教育を継続しているが、そのような新しい具体的な取組についても再度ご検討いただきたい。	生涯学習課	市内全域や校区内に残る特徴的な歴史や文化についてなど、学習教材も含めて取り組んでいく予定である。	無		
4	PTAの立場としては、今の小学4～5年生の10歳前後の子ども達が、10年後にどの程度津久見市に残っているかを考えている。子どもたちが集える場所の整備に注力していただきたい。図書館以外でも、そのような場があれば、土日に市外に出ることなく津久見市内で集えるのではないか。	生涯学習課	子ども達が集える場所の整備では、公民館機能を旧第二中学校跡地へ計画的に移転し、利用者の利便性向上を図ることや、スポーツや文化的な活動の場、さらに家庭・学校・地域社会との連携事業の推進が必要な取り組みである。スポーツや文化的な活動の場、週末や放課後における子どもの居場所づくりを通じて、地域の子どもたちの育成に寄与する役割を果たすことができる。	無		

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
5	津久見高校との連携も明記していただいているが、生徒が集まらないと何も始まらない。津久見高校に魅力はあるが、そのアピールが乏しいことが課題と言える。どの高校に行くかだけではなく、誰と一緒に高校に行くかという論点も重要なになってきている。子育て支援においては、子育て世帯が市外転出することが多く、定住促進がポイントとなっている。さらに、特別な支援が必要な子どもたちも目の当たりにしているため、その分野にも注力いただきたい。	学校教育課 社会福祉課	津久見高校は津久見市の子どもたちにとって、なくてはならない線路選択先です。津久見高校魅力化推進PT等の取組を推進することで津久見高校の魅力を、生徒、保護者等にしっかりアピールできるよう、市として支援していきたい。	無		
6	高齢者の移動について、団塊世代の運転免許返納時期が近付いているため、高齢者の交通手段の確保について注力いただきたい。市内を走る路線バスと乗り合いタクシーの運賃均一化は大変ありがたいが、時間帯・便数について再検討していただきたい。	経営政策課	市内の路線バス全体が赤字路線の中で、利用者の負担軽減や利便性向上のため、路線も整理しながら、令和7年10月から市内の路線バスの料金を距離に問わらず、一律200円としており、乗合タクシーについても、統一の200円としております。そういった取組を進める中で、利用者の増加を図っていきたいと考えております。 また、市内の高齢化率が高い中で、公共交通の利用促進と連携するような免許返納対策が実施できないかと検討しております。 そういった取組を組み合わせる中で、公共交通の維持確保を図っていきたいと考えております。	無		

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
7	昨今、若い世代が起業をしても、津久見市内のマーケットがなく、市外のマーケットを求めて転出してしまうことには注目すべきである。軸足を津久見市に置けるような取組が必要ではないか。	商工観光・定住推進課	創業支援補助金を継続していくと同時に、SNSを利用しての、マーケットを取り込むなどの戦略やセミナーを関係機関と連携して取り組むことを検討していきます。	無		
8	また、たたき台を見ると全体的に、Well-Beingに資する取組が欠けている印象がある。特に、つくみん公園において学び・スポーツ・交流というような多様な機能を提示することでより良い空間の創出につながり、Well-Being向上を図れるのではないかと考える。	まちづくり課	つくみん公園では、これまで学び・スポーツ・交流などを含む各種イベントが年間15～20回程度開催されてきました。今後は、つくみん公園を核とした新たな取り組みにより、より良い空間の創出や活用のさらなる多様化を検討していきます。また、イベントなどの取組に関しては、KPIを設定することで具体的な目標を明示することも考えています。	無		

第3回第6次津久見市総合計画審議会議事録及び質問等への回答

人口ビジョン関係

No	質問・意見	担当課	回答	修正の有無	修正部分	修正後の内容
1	総合戦略の期間は2030年までだが、その間においてグラフの線の描き方に大きな差がないため、あまり気にしなくても良いのではないか。	経営政策課	大きな差はないが、基準となる数字の根拠を明示しておく必要性を考慮して議題に上げた次第である。	無		